

～28のものづくり現場が開かれる特別な3日間～

丹後オープンファクトリー2025 “NeoTAN” を開催します

令和7年9月26日
京丹後市役所

本市では、大阪・関西万博を契機とする取組の一つとして、地場産業である丹後ちりめんや、機械金属業を中心とした様々な現場を開放し受入れを行うことで、国内外の方との交流や、本市の認知度の向上、産業の持続化を達成することを目的とした「地域一体型オープンファクトリー」に取り組んでいます。

この度、28のものづくり現場を一斉に開き、職人や技術者との直接対話や体験を通じて、地域の“ものづくり力”を感じられるイベントとして丹後オープンファクトリー2025「NeoTAN(ネオタン)」を開催しますのでお知らせします。

開催概要

【日時】令和7年10月3日(金)～10月5日(日)

【会場】丹後地域内 各参加事業所

メイン会場：丹後織物工業組合 TANGOOPENCENTER(総合案内・トークイベント)

【内容】28事業所(京丹後市18、与謝野町10)の工場・施設公開

見学・体験プログラム

【特別企画】「関西オープンファクトリーフォーラム Vol.37」(メイン会場にて)

10月5日(日)13:30～15:10

地域産業の振興や人材確保をテーマに、専門家・企業・行政が一堂に会して地域の未来を議論します。(京丹後市長、与謝野町長出席)

【主催】丹後オープンファクトリー実行委員会

【後援】近畿経済産業局、ハローワーク峰山・宮津、京都北都信用金庫

«当日の取材等に関する問い合わせ先»
丹後オープンファクトリー実行委員会事務局
京丹後市商工観光部商工振興課(日下部)
E-mail shokoshinko@city.kyotango.lg.jp
TEL 0772-69-0440、FAX 0772-72-2030

補足資料

丹後オープンファクトリー実行委員会について

京丹後市及び与謝野町を推進団体とし、関係行政機関、経済産業団体、金融機関等の協力団体及び目的に賛同し、積極的に参加する京丹後市または与謝野町に所在地を有する事業者等により構成し、丹後地域におけるものづくり企業の魅力発信と地域活性化のため、オープンファクトリーイベントを円滑に開催するために必要な事業を行うことを目的に本年4月に設立された。

- 実行委員長

高杉 鉄男（株式会社溝川 代表取締役社長）

- 構成団体

丹後織物工業組合、丹後機械工業協同組合京都北都信用金庫、ハローワーク峰山、
ハローワーク宮津、京丹後市商工会、与謝野町商工会、与謝野町観光協会、京丹後市観光公社、
京都府丹後広域振興局、京都府織物・機械金属振興センター、（事務局）京丹後市、与謝野町

地域一体型オープンファクトリーについて

ものづくりに関わる中小企業や工芸品産地など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、生産現場を外部に公開したり、来場者にものづくりを体験してもらう取組のことです。本市では、大阪・関西万博に向けて、令和6年3月に京丹後市万博推進協議会を設置し、京丹後市万博ロードマップに位置付ける取り組みの一つとして「地域一体型オープンファクトリー」の開催に向け、市内事業者における機運醸成や、プレツアー等を行ってきました。

【特別企画】「関西オープンファクトリーフォーラム Vol.37」について

日時：10月5日(日)13:30～15:10 於 丹後織物工業組合 TANGOOPENCENTER

セッションテーマ「越境×アツギ×オープンファクトリー」

登壇者：田中 京 氏（日本政策投資銀行）、山下正人氏（有限会社三葉商事）、糸井宏輔（株式会社丹菱代表取締役）、森川大介氏（北都信用金庫）

ファシリテーター：津田哲史氏（近畿経済産業局）

※トークセッション終了後、京丹後市長、与謝野町長、京都北都信用金庫理事長が来賓挨拶



詳細情報は公式 HP <https://neotan.jp/>